

Solusi "Unik & Baru" untuk pelanggan dari P.T.MARUKA INDONESIA bersama.

新しくユニークな解決方法を、マルカインドネシアはご提供します。



(注: 写真撮影時のみマスクを外しました。)

P2 2020年12月 1Q新キャンペーンの展開にあたって

P3 株式会社ミヤザワ本社工場内で内覧会を開催いたしました

P4-5 2021年上期役割表

P6 Maruka's successfully-active employees Vol.13
ジャパンレンタル株式会社編

P7 食品工場様向け自動化装置提案勉強会を開催いたしました!

P8-9 パソコンの「ウイルス感染」にご注意を!

P10 マルカ事務所のぶらり探訪Vol.4岡山支店編

P11 マルカの動き

P12 取扱商品 保険部
TOUGH Plus 見守るクルマの保険プラス

2021年度新キャンペーンの展開にあたって

今年度のキャンペーンスローガンは次の通りです。

(主題)「MARUKA UNIQUE SOLUTIONS '21」

(副題)「変革と創世 新たな時代の先駆者へ」

Let's Pioneer the New Era!

2020年度は今までに経験したことがない、波乱に満ちたVUCAの時代を強く意識せざるを得ない1年でした。

年明けから新型コロナウイルス感染が地球規模で拡大を続けた結果、4月には世界中で感染拡大防止対策として、社会活動を大きく制限する都市封鎖が実行されたことから、世界経済が深刻なダメージを受けたことはメディアで報じられた通りです。

日本経済でも内外需要の急減を受けて製造業、非製造業ともに大幅な減収となり、実質GDPでは4-6月が年率換算でマイナス28.8%と、リーマンショック時のマイナス17.8%を抜いて戦後最大の減少率になりました。7-9月では年率換算でプラス21.4%となりましたが、これは4-6月の落ち込み分の52%を取り戻したに過ぎない状況です。

マルカの事業にとっても、今まで経験したことのない逆風を受ける事態となりました。海外各国への出入国の制限や、国内での訪問活動が困難となる状況が続いたことから、営業活動を進めていく上で著しい支障が生じました。また一方で働き方では在宅勤務、時差勤務、時短勤務を取り入れるなどしたため、営業面、業務面で大きな不便と負担を強いられることになり、業績面でも厳しい結果が見込まれます。

さて、2021年度はこの様な社内／社外ともに危機的な状況の下でスタートしました。

今年度のキャンペーンスローガンは、

主題は「MARUKA UNIQUE SOLUTIONS '21」

副題は「変革と創世 新たな時代の先駆者へ」

です。

主題の意味するところは2020年度で緒に就いたばかりの「Unique Solutionsの探求」を2021年度も引き続いて追及していきます。取引先の皆様から信頼される唯一無二のパートナー企業となることがマルカの存在意義(purpose)であり、マルカのブランド力を更に向上させることを目指します。

ポストコロナ時代はVUCAの深刻化が今以上に進み、現状の仕組み・やり方・考え方・組織・常識が通用しない中で生き残りを賭けた厳しい競争の時代になると予想されます。

副題ではこの厳しい競争の時代を勝ち残るため、現状の



竹下社長

仕組み・やり方・考え方・組織・体制を見極めたうえで、一旦解体した後新たに再構築を図るdeconstructionの発想から全く異なる新しいカタチを創り出す「変革」及び、全く今までにない新しい時代を創り出していく「創世」を、常に意識する鋭い感性と大胆な行動力を併せ持つ人材、つまり「新たな時代の先駆者」たらんことを目指そうという意味です。

「変革」と「創世」で創り出す新しいカタチは、過去の延長上(present push)の発想ではなく、マルカの存在意義(purpose)に基づいた未来のあるべき姿を目標として、その実現に向けて努力する未来からの発想(future pull)で創り上げねばなりません。

私たちにとって今必要なことは、未来のあるべき姿を目指して現状を見極め、「解体」と「再構築」を通じて、根本から新しいものを創り出していくことです。

さて「両利きの経営」という経営学の考え方があります。キーワードの「知の深化」と「知の探索」を、左右の両手がどちらも利き手であるかの様に、自在に使いこなすことを意味します。この両者のバランスをうまく取りながら、二兎を追う経営が行えているほど企業のパフォーマンスが高くなる傾向にあるという考え方です。

「知の深化」とは、既存の事業を深めていくことです。企業が社会で信用を得るためにルーティンワークを確実にこなし、納期や約束事を守り、業務を深掘りして磨き込むことで、お客様のお役に立ち、お客様に満足していただくことです。これは主題の「Unique Solutionsの探求」に他なりません。

「知の探索」とは、新しい事業の開拓を目指すことです。自分たちの知る範囲を超えた領域に働きかけて得られる知識から、新しいアイデアを掴み、これをビジネスに繋げて事業化することです。これは副題の「変革と創世」に結び付くことだと言えます。

厳しい環境でパフォーマンスを高める「知の深化」と「知の探索」の「両利きの経営」を目指すためにも、「Unique Solutionsの探求」と「変革と創世」を意識し、拘り続ける1年にしましょう。

以上



株式会社ミヤザワ本社工場で 内覧会を開催いたしました

マルカと株式会社ミヤザワ(以下、ミヤザワ)は、11月24日(火)・25日(水)の2日間に渡り、同社本社工場(長野県伊那市)にてノンフロン冷凍機の内覧会を開催いたしました。



ミヤザワは、食品製造装置ソリューションメーカーで、サンドイッチ、食パン、パンズ用のスライサー等を主に製造・販売しています。2020年2月に、欧州大手業務用冷凍機メーカーであるSCM Frigo社(イタリア)と、日本での販売の総代理店契約を締結しました。SCM社は、ノンフロン業務用冷凍機を主に欧州で販売しており、1979年以来延べ5000台超の販売実績があり、欧州でのシェアも15%程度を占めています。同社の業務用冷凍機は、主に肉・魚の生鮮食品や冷凍食品を冷凍するために使用されています。

欧州では温室効果ガスの排出規制が厳しく、ノンフロン冷凍機が主流ですが、日本ではまだまだフロン冷凍機が過半数の状況です。日本は2020年11月22日、G20サミットで2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするという目標を示し、実現に向けた決意表明を実施、国際公約した形になっています。今後も、フロン冷凍機に関しても更なる温暖化対策への規制強化が想定されます。

ユーザー様の温暖化防止への関心も高く、初日には15名、2日目には30名のご来客があり、試験設備及び実機を見学しながら、ユーザー様の制御ニーズや適用機器のご相談など、具体的なご質問も多数いただきました。

今後もマルカ/ミヤザワとしては、環境問題(温暖化防止)に真摯に向き合いながら、冷凍機事業を拡大していきたいと考えております。

11月下旬の寒い中、更に寒い冷凍室の中をめぐり見学頂きましたご参加のユーザー様にも、対応頂いたミヤザワのスタッフの皆さんにも、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(東京支社 産業機械本部副本部長 渡辺 貴久記)



Maruka's successfully active employees



VOL.13

～国内グループ会社編～



ジャパンレンタル株式会社
フロント業務部

木村 裕一



世界中で活躍している社員の紹介記事から、マルカグループをもっと詳しく知って貰いたいと願っています。

はじめまして。2019年に入社しました、ジャパンレンタルの木村(38歳)です。

ジャパンレンタルは主に高所作業車、クレーンのレンタルをしています。

本社は神奈川県川崎市にある会社です。

私はフロントに所属し、その役割はお客様の依頼に応じてオペレーターと車両の手配を整え、業務の内容や必要な書類等を準備します。単純な作業のようですが、状況の変化での急な対応や変更など色々と戸惑うことも多く、まだまだ勉強の毎日です。と言うのも私は以前、自動車ディーラーでエンジニアや営業をしていたのでこのような業界は全くの異業種でした。右も左もわからず、初めて耳にする専門的な用語などに戸惑いと驚きの連続の中、職場の仲間に助けられながら刺激的な日々を過ごしています。

社内の雰囲気は、新たなアイデアなど柔軟に採り入れ、迅速に業務に反映されるなど、フットワークが良く、挑戦することに寛大な社風で、非常に遣り甲斐を感じています。今まで培った、整備の知識や接客対応など経験を活かし、コミュニケーションを大切にしながら、現場でお客様とオペレーターが安全に、気持ちよく働ける環境づくりが出来るよう心掛けています。

そんな私の職場の近くには有名な川崎大師があります。川崎大師は初詣や週末には沢山の観光客で賑わう観光スポットです。ジャパンレンタルも新たな機械の導入の際は、川崎大師祈禱殿にて安全祈願をしてから、納車式を執り行っています。参道には美味しいお店も沢山ありますので、近くに来た際には是非、みなさんも足を運んでみてください。

時代の変化をとらえ、柔軟な発想でお客様のニーズに応えられるようこれからも、ジャパンレンタルの一員として頑張っていきます。



川崎大師本堂前にて



勤務地
神奈川県川崎市



ジャパンレンタル株式会社

〒210-0813 神奈川県川崎市川崎区昭和2-13-3
本社 TEL.044-288-5323

食品工場様向け自動化装置提案勉強会を開催いたしました！



マルカは新規事業の一環として食品機械の販売を推進し、F-MM会^(※①)企業の拡充、独自の商品群の強化を進めています。

10月22日(木)に、東京支社主催による「株式会社ミヤザワ^(※②)/SCM^(※③)勉強会」を、大阪本社・静岡支店・名古屋支店・岡山支店・福岡支店をTV会議システムでつないで開催しました。

今回の「株式会社ミヤザワ/SCM 勉強会」では、CO₂冷凍機を勉強しました。

同社は、SCM社とタイアップしてCO₂冷凍機の販売をしています。

SCM社は日本国内ではなじみが薄いかも知れませんが、欧州では5000台超の販売実績のある、コスト競争力を持った大手メーカーです。SCM社の業務用冷凍機は炭酸ガス冷媒であり、ノンフロン冷媒の中でも、手間がかからず初期投資を抑制できるメリットがあります。従来のHFC冷媒と比べCO₂排出量が極めて少なく、ランニングコスト的にも環境にも優しい冷凍ユニットです。コンパクトに設計されたユニットなので、設置や保守点検が簡単にできます。ユニットは、ガスクーラーと制御盤が装備され、工場出荷時にプログラミングした状態でお届けするので起動も簡単です。ノンフロン冷媒の業務用冷凍機へのリニューアルを検討されているユーザー様には、実機を見てご検討頂けるよう、同社の長野県伊那市の工場内のラボに設置しています。

マルカは、食品工場などのユーザー様へ革新技术の情報発信を行ったり、Uniqueな技術を持ったメーカーとの親密な関係と海外ネットワーク24拠点のサービスを基に前後周辺機器を含めた提案を申し上げるなど、Unique Solutionsの探求を継続してまいります。



(TV会議での勉強会中)

※① F-MM会：“Food Maker & Maruka”会。専門分野でUNIQUEな技術を有するメーカーとマルカが、商品販売拡大と新商品の共同開発を行っている会。

※② 株式会社ミヤザワ：創業41年の食品製造装置ソリューションメーカー。食品製造装置オーダーメイド、精密板金加工等に強み。2019年よりマルカグループ。

※③ SCM Frigo社：1979年設立のイタリアの業務用冷凍機メーカー。

(東京産業機械第一部第二課 松崎 友樹記)



パソコンの「ウイルス」

注意喚起

2020年9月頃より「Emotet」(エモテット)と呼ばれるウイルスへの感染を狙う不正な「攻撃メール」が、国内の組織へ広く着信しています。

マルカ社内及びお取引先様においても類似の「攻撃メール」が発生している旨、多数報告いただいております。日々巧妙化しておりますが、まずは当記事で基本的な特徴と対応策を取りまとめましたので、お知らせします。

Emotetの概要

- ①他のウイルスへの感染のために悪用されるウイルスであり、不正なメール「攻撃メール」に添付され、感染の拡大が試みられています。
- ②Emotetの感染を狙う「攻撃メール」は、正規のメールへの返信を装い他者に対する新たな「攻撃メール」の材料として使われています。

Emotetの手口

「攻撃メール」の受信者が過去にメールのやり取りをしたことのある「実在の相手の氏名、メールアドレス、メール内容」等の一部が「攻撃メール」に流用され、「攻撃メール」への返信を装う内容や、業務上開封してしまいそうな巧妙な文面となっている場合があります、注意が必要です。

* 攻撃メール:いずれも下記の方法で、Word文書等の添付ファイルにウイルス(Emotet)をダウンロードし感染させる動作をするマクロ(プログラム)が組み込まれています。

- ①Word文書等のファイル(拡張子 .doc 等)が添付されたメール
- ②メール本文内にURLリンクが記載されているメール。
- ③パスワード保護付きzipファイルが添付され、メール本文内に解凍用パスワードが記載されたメール。
(zipファイルの中身はWord文書等のファイル)

対応策

- ①身に覚えのないメールの添付ファイルや、メール本文中のURLリンクはクリックしないでください。
- ②自分が送信したメールへの返信に見えるメールであっても、不自然な点があれば添付ファイルは開かないでください。
- ③OSやアプリケーション、セキュリティソフトを常に最新状態に更新しておいてください。
- ④信頼できないメールに添付されたWord文書やExcelファイルを開封した際に、マクロやセキュリティに関する警告が表示された場合「マクロを有効にする」「コンテンツの有効化」等のボタンはクリックしないでください。



「感染」にご注意を!



あくまでも一例です。様々な内容の攻撃メールの報告を受けておりますのでご注意ください。

チェックポイント



①攻撃者が取引メールの送信相手になりすまして返信のように装っている。

対応→取引先「田中」氏の正しいE-mailアドレスになっているかを確認。

※「②」が実際の送付元のアドレス。

正しいアドレスではない場合は「攻撃メール」と判断できます。

左の図では一例を挙げていますが、毎回ランダムなメールアドレスより送付されます。

③メール件名の流用

④不正な添付ファイル

対応→①～③から怪しいと思ったら添付ファイルは開かない。

件名・添付ファイル名に含まれる文言の例

- (1)請求書の件です。
- (2)ご入金額の通知・ご請求書のお願い
- (3)会議への招待 等々

⑤攻撃者が付け加えた文章

対応→以下のような事例がありましたので必ずご確認ください。

- 「取り急ぎ連絡いたします」等、添付ファイルを開くように促す文章のみの場合。
- 業務上の流れと合わない内容が送付された場合。
- 過去のメールから極端に時間が経過している場合。

⑥お取引先担当者様が送付したように

氏名やメールアドレスが署名形式で書かれている。

対応→本文中に記載の署名のメールアドレスと実際に送付された送付元メールアドレス(②)が合致しているかを確認。

※同事象と思われるものについて判断が難しい場合は情報システム部までご連絡願います。

弊社岡山支店は、岡山駅から路面電車で13分程南下した清輝橋駅から徒歩4分の所在地で、岡山大学医学部の傍に位置し、支店の前の道路を真っすぐ北上すると西川支流の枝川が流れています。

西川の用水は、寛永年間(1624年)藩主池田忠雄(ただかつ)の時代に灌漑を目的に着工され15年にわたり大規模な工事により完成されました。この近世城下町の水インフラ整備が、現在の岡山市のランドデザインの基礎となって変遷されていきます。

西川は岡山城下の南の地域が干拓され、新田が相次いで造成されたために灌漑用水としてのみならず、武家町人町としても発展し都市用水や防火用水機能としても利用されていきました。江戸中期には「水屋」という水売り商人が、西川・旭川の漉(こ)した水を運んで一荷一銭五厘から三銭で売られていました。明治25年頃には家々で「水入用」の札を吊るして置くと、それらの業者が各戸に水を配って歩く程の活況だったようです。

西川は城郭の堀に準ずる施設であったので、土手や石垣が壊れたり、埋つたりすることのないよう見まわることが命じられていました。「不浄物」や「塵芥類」を投げ捨てることを禁ずる町触もだされていましたが、明治35年には伝染病が大流行になり、明治38年には水道施設が全国で8番目に完成されました。

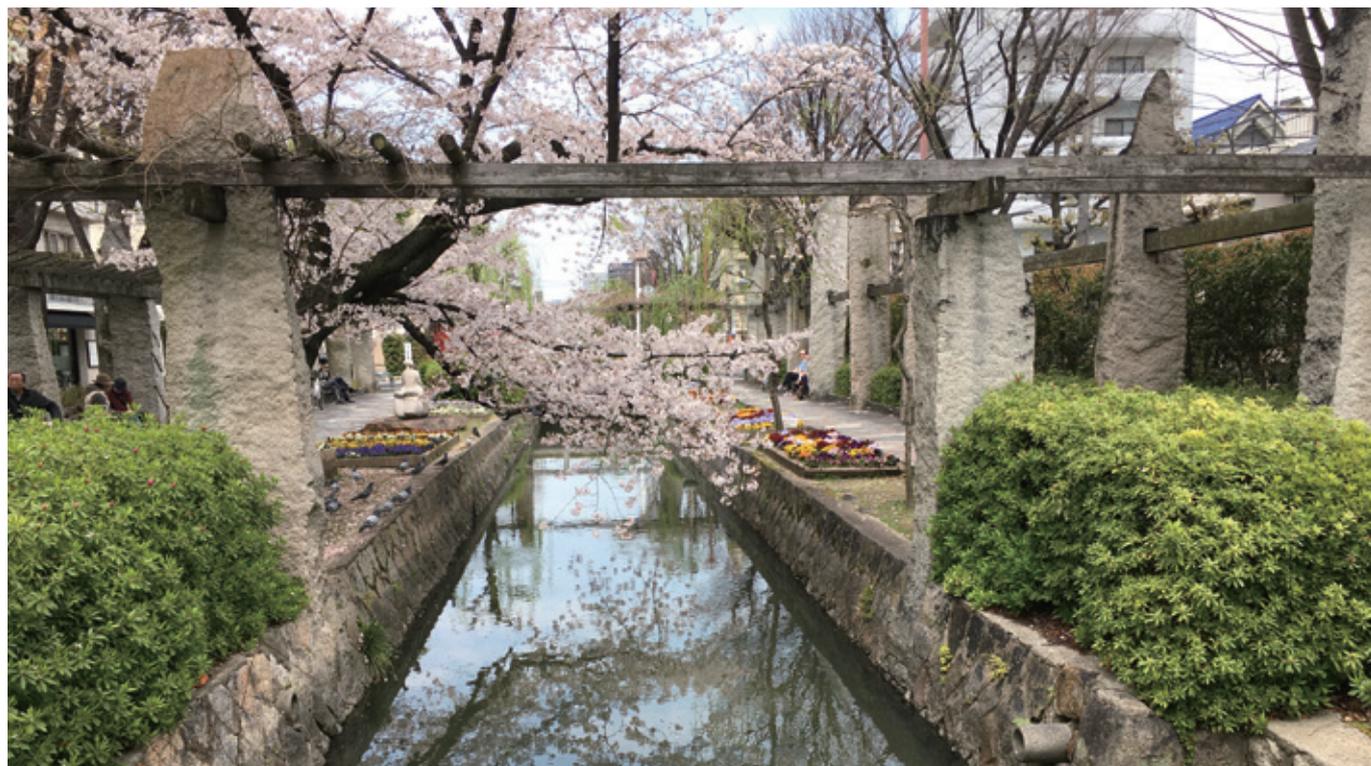
しかしながら昭和初期まで清輝小学校(支店南東へ300m)の西川の水で、紙を漉していた紙漉き屋があったということは、紙漉きに西川の綺麗な水が要求され使われていた一時期があったということです。

まさに今昔の感がありますが、そんな枝川沿いには西川から続く緑道公園として整備され、市民の憩いの場として今もその姿を留めています。

YW記



(枝川水取場跡)



(枝川北から南へ臨む景色 2020年4月3日撮影)

マルカの動き

動 き

9月 1日：新キャンペーンオープニング
9月 4日：経営会議・営業会議
9月 18日：2021年度計画委員会
10月 5日：第3四半期決算発表
10月 20日：2021年度計画委員会
11月 20日：経営会議・取締役会・監査役会

辞 令

9月1日付

齊藤 正隆	東京産業機械第二部	専任部長
原 茉莉子	FA機器営業部	業務
土橋 加奈	業務部東京	
花登 駿也	東京産業機械第二部	第三課長
海原 良祐	東京産業機械第二部	第一課 主任
山岡 洋美	東京産業機械第二部	業務
橋田 友紀	東京産業機械第二部	第二課
菱山 諒	東京産業機械第二部	第三課

入社辞令

9月1日付

小林 憲司 岡山支店

表 彰

○殊勲賞

静岡支店	1件	マルカ・アメリカ社	1件
大阪産業機械第一部	1件	マルカ・インドネシア社	1件
大阪産業機械第二部	1件	名古屋産業機械第二部	1件
東京産業機械第二部	1件		

○一般表彰

【貿易実務検定B級】

中村 魁冴 経理部

立木 沙菜子 経理部

【貿易実務検定C級】

岡本 尚樹 名古屋産業機械第二部

岩元 智大 大阪建設機械部



取扱商品

あいおいニッセイ同和損保

立ちどまらない保険。

MS&AD INSURANCE GROUP



見守るクルマの保険プラス

事故のあとの保険から
事故を起こさない保険へ



プロモーションビデオも
ご覧ください。
(5分53秒)



各サービスを動画でも
ご覧いただけます。
(6分21秒)

「タフ・見守るクルマの保険プラス(ドラレコ型)」、
「タフ・見守るクルマの保険プラスS」の2つの商品をご用意しています。

個人総合自動車保険

令和3年1月以降保険始期用

お問い合わせは



株式会社マルカ

保険部 佐竹・小寺まで
TEL.06-6450-6791

安全運転を進化させる保険。



「タフ・見守るクルマの保険プラス」はヘルマーク協賛商品です。MS&ADインシュアランスグループは、サッカー日本代表を応援しています。